

特集

より安全な

高度・専門医療

を目指して

市民病院

第2診療棟が完成

問い合わせ

管理課 ☎57・0051

市民病院では、患者さんやご家族が常に安全に安心して医療を受けられるよう、地域の基幹病院として質の高い医療の提供に努めています。

日々目まぐるしく進歩する高度で専門的な医療に対応するため、新たに「第2診療棟」を整備しました。「第2診療棟」は、6月6日(月)から診療を開始します。

今回の特集では、完成した「第2診療棟」と、そこで行われるより安全で安心な高度・専門医療を紹介します。

春日井市民病院
第2診療棟完成後のMAP



第2診療棟

「医療のまち春日井」
を目指して



院長 成瀬友彦

平成10年に新築移転した市民病院も、高度化・専門化する医療への対応を進めた結果、徐々に手狭となってきたおりました。これを解消するため、約3年の歳月をかけ整備を行ってきた「第2診療棟」がいよいよオープンします。

この「第2診療棟」には、小児アレルギーセンターやハイブリッド手術室、内視鏡センターなどを設置いたしました。市民の皆様には、より高度で専門的な医療を安心して受けていただける施設となったと確信しております。いまだコロナとの闘いが続いている状況ではありますが、「医療のまち春日井」を目指してまいりますので、どうぞご期待ください。



市民病院
ホームページ



市政だより
(6月4日から放映予定)

小児アレルギーセンター

食べ物やほこりなどが原因となるアレルギーは、生後早くから治療を始めることが重要です。アレルギー疾患全般に対し、より充実した治療を行うため、尾張地区では初の小児アレルギーセンターを設置しました。

栄養指導室、エピソード⑩指導室、アレルギー負荷試験室のほか、キッズスペースを一つのフロアに完備し、子どもと保護者が安全に安心して受診していただくことができます。



キッズスペース

より充実した治療を提供します

治療に必要な機能が一つのフロアに集約され、栄養指導やスキンケアなどがより細かく丁寧に行えるようになりました。

血液検査だけで食物アレルギーと判断されて除去を継続していた患者さんも、食物経口負荷試験を行うことで、食物アレルギーの有無を正確に検査でき、正しい診断に基づき、食べられる食物を増やすことができます。



食物摂取後に運動をしてアレルギー反応を確認します



小児アレルギーセンター
主任部長 小林 貴江

子どものアレルギー疾患は年々増加傾向にあります。食物アレルギーの患者さんも年々増え、命を脅かすアナフィラキシー反応を起こす子どもの割合も増えていきます。アレルギー体質の子どもが成長とともにアトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患を次々と発症する「アレルギーマーチ」を防ぐためにも、生後早から治療が大切になります。診療には、管理栄養士などの医療チームが関わり、子どもと保護者が安心して日常生活を送れるよう全力でサポートします。

ハイブリッド手術室



血管の病気に対する手術の方法は、カテーテルという細い管を血管の中に通して患部を拡げたり遮断したりする血管内治療と、バイパス手術などの外科的治療の二つがあります。

血管内治療は身体への負担が軽い一方、適していない場所もあり、この場合は改めて外科的治療を行う必要がありました。新たに整備をしたハイブリッド手術室では、この二つの手術を一度に行うことができます。

血管外科
主任部長 玉井 宏明



ハイブリッド手術室では、これまで2回に分けていた血管内治療と外科的治療を一度で行うことができ、患者さんの負担が軽減されます。血管撮影装置は最新のもので設置され、より高度かつ効率的な医療を提供できるようにになります。

主な症例

- 心臓や脳を除く体中の動脈や静脈の病気を治療します。
- (例) 血管が太くなってしまいう病気
腹部大動脈瘤や下肢静脈瘤など
- 血管が詰まってしまいう病気
閉塞性動脈硬化症や深部静脈血栓症など
- 出血している病気
消化管出血など

内視鏡センター



最新の内視鏡機器

既存棟から移転し、床面積が移転前の3倍に拡大されたことで待機室などの環境が改善し、安心して検査を受けることができる空間となりました。最新の内視鏡機器と赤色系の内視鏡モニタ画面の対照色となる青色系のLED照明の設置により、病変をより強調して見られるようになりました。

内視鏡センター
主任部長 高田 博樹



移転後のセンターでは、最新機器を導入するとともに、検査前の待機室は広々とした空間になるなど、設備面でもさまざまな患者目線の改善が図られています。

設備面だけでなく、これまで以上に安全で安心な内視鏡検査を受けていただけるよう、私たちも日々努力してまいります。



検査待機室

スキンケア外来

～肌のトレーニング空間～

アトピー性皮膚炎による炎症などで蓄積した肌へのダメージに対し、保湿剤や基礎化粧品への選定、使い方の基本的なスキンケア指導に加えて、美容の技術を利用した肌のトレーニングを提供する空間です。

肌が弱い人のための美容治療

レチノールなどのビタミンAやIPL（光治療）を用いることで、人が本来持っている肌の防御力を取り戻し、皮膚炎が再発しにくい肌を目指します。

※自費診療になります。



スキンケアルーム



皮膚科 主任部長 古橋 卓也

スキンケア外来ではまず「アトピー性皮膚炎専門外来」を始めます。私自身もアトピー患者です。皆さんが日々困っていることを教えてください。一緒に考え、最善の方法を見つけましょう。

当院を受診したことがない方でも、予約をしていただけるように準備してまいります。

6月下旬(予定)から 通院支援アプリを導入します

スマートフォンを利用して通院をますます便利に！
問い合わせ 医事課 ☎57-0080

※詳しくは、市民病院ホームページ及び院内掲示板でお知らせします。

※画像はイメージです

1 明日は受診日 注意事項は？

12:00
春日井市民病院

【来院の予約】
明日は検査があります。
注意事項は以下の通りです。

〈検査前日〉午後 8 時以降は、
何も食べないでください。水や
お茶は飲んでかまいません。

確認

2 診察前には お好きな場所で

春日井市民病院
春日井 一郎

受付番号
0001

外科
医師：〇〇××
進行状況
間もなく診察となります。「診
療科待合」でお待ちください。

3 診察後はそのまま 帰宅

春日井市民病院
春日井 一郎

2022年6月27日
本日のお支払いをらくらく
会計にする場合は、次のボ
タンを押してください。

らくらく会計

4 次はいつ受診？ お役立ち情報も！

12:00
春日井市民病院

6月6日から、第2診療棟
に小児アレルギーセンター
がオープンします。アレル
ギーを心配される場合はぜ
ひご相談ください。

確認

☑ 前日にお知らせ

受診日の前日に診療予約をお伝えします。当日の検査の注意事項も確認でき、安全に受診できます。

☑ 診察前の呼出

順番が近づいたことをお知らせします。診察までの待ち時間を院内のお好きな場所で過ごせます。

☑ 後払い会計

受診日に「らくらく会計」を選択すれば会計で並ばず帰宅できます。
※あらかじめクレジットカードの登録が必要です。

☑ 予約確認・ メッセージの受信

次回以降の予約をいつでも確認できます。また、病院からのお知らせなどを受け取ることができます。

※アプリの利用には市民病院での登録が必要となります。
アプリをダウンロードしたうえで窓口へお越しください。

アプリ「HOPE LifeMark- コン
シェルジュ」のインストールは
こちらから▶

iOS



Android

